

令和7年度 岐阜県立岐南工業高等学校

同窓会総会



日 時 令和7年7月13日（日）

場 所 ホテルグランヴェール岐山〈3F 鳳凰の間〉

校 訓 創意 実践

校 歌

平 光 善 久 作詞
小 木 曾 薫 作曲



一、清峰伊吹を はるかにのぞみ

満ち来る 血潮の 若き高鳴り

いのち明るく 我らは強し

道を究め 道を究め

誇りは 厳たり 工業我が校

二、清流長良の さざなみ映し

みなぎる光の 白きかがやき

こころ豊かに 我らは清し

技を磨き 技を磨き

理想は はてなし 真理の工学

三、清明この空 世界につづき

とびたつ希望の 軽きはばたき

空は真白に 我らは正し

学を修め 学を修め

創造新たに 華咲く岐南工

校章・スクールカラー

校章は、岐阜市の市章「イゲタ」をデザインしたもので、昭和31年県立移管の時に修正を加えて現在のものとなった。

また、本校のスクールカラーは「えんじ」であり、落ち着いた学校生活を過ごす中にも先取気鋭の心を持ち、「誠実にして明朗な岐南工生」を表している。

総会日程

総会受付

13:00～13:30

総 会

13:30～14:30

次 第

- 1、開会の辞
- 2、会長挨拶
- 3、名誉会長挨拶
- 4、来賓挨拶
- 5、議長選出
- 6、議 事

第1号議案 令和4・5年度ならびに6年度 事業報告

第2号議案 〃 一般・特別会計
及び監査報告

第3号議案 同窓会会則の改正案

第4号議案 令和7・8年度 役員改選案

第5号議案 令和7・8年度 事業計画案

第6号議案 〃 一般会計予算案

7、閉会の辞

講 演

14:50～15:40

演 題 「 渋 沢 栄 一 伝 」

講談師 神田 京子 氏

岐阜県美濃市出身

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭賞最優秀賞受賞

令和3年度岐阜県芸術文化奨励賞受賞

長良川鉄道広報大使



懇 親 会 16:00～(最大17:30)

※ 孔雀の間にて(5F)

令和4・5年度 事業報告

令和4年度(2022)

R4/4/21

・創立80周年記念事業 第2回実行委員会



全体会



分散会

・第1回 同窓会役員会

役員改定、創立80周年記念事業総会について、
令和4年度同窓会総会について、卒業記念品について

R4/6/10

・東海大会出場 激励



レスリング部



自転車競技部



陸上競技部



卓球部

R4/6/20

・第2回 同窓会役員会

令和4年度同窓会総会について

R4/7/15

・第3回 同窓会役員会

令和4年度同窓会総会について

R4/7/22

・全国大会出場 激励



レスリング部・自転車競技部



自動車研究会

・東海大会出場 激励



陸上競技部

R4/7/24

・令和4年度同窓会総会



全体会



講演会



各学科見学

- R4/8/25 ・ 第4回 同窓会役員会
創立80周年記念事業について

- R4/9/14 ・ 国民体育大会出場 激励



自転車競技部

- R4/10/7 ・ 創立80周年記念事業 第3回実行委員会



全体会



分散会

- ・ 第5回 同窓会役員会
創立80周年記念事業について

- R4/10/28 ・ 東海大会出場 激励 陸上競技部

- R4/11/14 ・ 東海大会出場 激励



レスリング部

- R4/12/22 ・ 東海大会出場 激励



卓球部

R5/1/12

・第6回 同窓会役員会
創立80周年記念事業について



R5/2/28

・卒業記念品贈呈式 藤根会長



R5/3/7

・全国大会出場 激励



自転車競技部



卓球部

・東海大会出場 激励
ラグビー部

令和5年度(2023)

R5/4/21

・第1回 役員会

役員の改定について、卒業記念品について
創立80周年記念事業について

R5/5/19

・創立80周年記念事業 第4回実行委員会



全体会



分散会

・第2回 同窓会役員会
創立80周年記念事業について

R5/6/9

・東海大会出場 激励



壮行会



レスリング部・陸上競技部

自転車競技部・卓球部

R5/7/21

・全国大会出場 激励

自転車競技部・自動車研究会

・東海大会出場 激励

陸上競技部・電気研究会・土木研究会

R5/9/13

・国民体育大会出場 激励



壮行会



自転車競技部・レスリング部

R5/9/15

・創立80周年記念事業 第5回実行委員会



分散会



分散会

・第3回 同窓会役員会
創立80周年記念事業について

R5/9/27

・創立80周年記念式典に向けて



全体会



校歌指導

R5/10/16 ・ 創立80周年記念事業 第6回実行委員会



分散会



分散会

・ 第4回 同窓会役員会
創立80周年記念事業について

R5/10/24 ・ 東海大会出場 激励



陸上競技部

R5/10/27 ・ 創立80周年記念式典 前日リハーサル



R5/10/28 ・ 創立80周年記念式典、講演会



R5/11/8 ・ 創立80周年記念 芸術鑑賞



R5/11/21 ・ 創立 80 周年記念 文化祭



R5/12/22 ・ 東海大会出場 激励



卓球部

R6/1/9 ・ 全国大会出場 激励



卓球部

R6/2/15 ・ 第 5 回 同窓会役員会
創立 80 周年記念事業の反省、今後に向けて

R6/2/29 ・ 卒業記念品贈呈式 藤根会長



R6/3/14 ・ 令和 5 年度 臨時総会

令和4・5年度事業報告・会計報告

令和6・7年度事業計画・予算案

役員改選



R6/3/22

・全国大会出場 激励



レスリング部



自転車競技部

・東海大会出場 激励



吹奏楽部

令和6年度 事業報告

令和6年度(2024) R6/5/9 ・第1回 同窓会役員会
総会議案について、令和7年度同窓会総会について
卒業記念品について



R6/6/7 ・東海大会出場 激励



(レスリング部・卓球部・自転車競技部)

R6/7/19 ・全国大会、東海大会出場 激励



(レスリング部・自転車競技部・自動車研究会・電気研究会)

R6/8/28 ・全日本選手権出場 激励 自転車競技部

R6/9/11 ・国民スポーツ大会出場 激励
自転車競技部 レスリング部 卓球部

R6/9/19 ・第2回 同窓会役員会
創立80周年記念事業における学校への寄贈品の進捗
状況について、令和7年度岐南工業高等学校同窓会総
会について

R6/12/24 ・全国選抜東海選考会出場 激励 卓球部

R7/1/8 ・全国都道府県対抗駅伝競走 激励 陸上競技部

R7/1/24 ・第3回 同窓会役員会

R7/2/28 ・卒業記念品贈呈式 後藤会長

R7/3/24 ・全国大会出場 激励 レスリング部 自転車競技部

令和4・5年度 一般会計報告

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
1 入会金	2,420,000	2,335,000	▲ 85,000	R4:263名、R5:204名 467名×5,000円
2 総会協力券	0	0	0	
3 雑収入	200	27	▲ 173	利息
4 繰越金	4,130,181	4,130,181	0	
合計	6,550,381	6,465,208	▲ 85,173	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
1 事務費	60,000	217,818	▲ 157,818	通信、消耗品費、封筒印刷 (ホームページ開設による通信費)
2 会議費	90,000	159,118	▲ 69,118	役員会、その他
3 事業費	2,280,000	1,382,152	897,848	
(総会費)	800,000	277,122	522,878	総会、講演
(総会準備費)	50,000	5,720	44,280	
(慶弔費)	60,000	10,000	50,000	香典
(組織拡充費)	10,000	458,450	▲ 448,450	ホームページ開設の費用
(科別同窓会費)	140,000	0	140,000	I科35,000円
(卒業記念品費)	320,000	281,860	38,140	印鑑
(生徒会助成費)	100,000	0	100,000	
(部活動助成激励金)	800,000	349,000	451,000	
4 特別会計へ繰出し	2,000,000	2,000,000	0	
5 予備費	2,120,381	1,000,000	1,120,381	創立80周年準備金
合計	6,550,381	4,759,088	1,791,293	

総収入金額 6,465,208

総支出金額 4,759,088

次期繰越金 1,706,120

令和4・5年度 特別会計報告

収入の部

(単位：円)

項 目	決 算
普 通 預 金	10,676,640
定 期 預 金	0
合 計	10,676,640

会計処理の簡素化を図るため、創立80周年を機に定期預金（多数）を解約し、普通預金に一本化しました。（令和6年2月15日役員会で承認済み）

令和4・5年度、同窓会予算（一般会計、特別会計）執行について監査を実施した結果、適正に執行されていることを確認しました。

令和 6 年 5 月 1 日

会計監査 秋 田 公 三

会計監査 川 島 敏

令和6年度 一般会計報告

収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
1 入会金	1,220,000	1,220,000	0	244名名×5,000円
2 総会協力券	0	0	0	
3 雑収入	100	696	596	利息
4 繰越金	1,706,120	1,706,120	0	
合計	2,926,220	2,926,816	596	

支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
1 事務費	125,000	114,328	10,672	通信、消耗品費、封筒印刷 (ホームページ開設による通信費)
2 会議費	25,000	55,766	▲ 30,766	役員会、その他
3 事業費	1,720,000	463,280	1,256,720	
(総会費)	800,000	0	800,000	総会、講演
(総会準備費)	50,000	0	50,000	
(慶弔費)	25,000	0	25,000	香典
(組織拡充費)	5,000	0	5,000	
(科別同窓会費)	70,000	0	70,000	I 科35,000円
(卒業記念品費)	320,000	317,280	2,720	印鑑
(生徒会助成費)	50,000	0	50,000	
(部活動助成激励金)	400,000	146,000	254,000	
4 特別会計へ繰出	0	0	0	
5 予備費	1,056,220	0	1,056,220	
合計	2,926,220	633,374	2,292,846	

総収入金額 2,926,816

総支出金額 633,374

次期繰越金 2,293,442

令和6年度 特別会計報告

収入の部

(単位：円)

項 目	決算額	備 考
1 一般会計からの繰入	0	
2 周年事業会計からの繰入	1,227,645	創立80周年記念事業残金
3 定期預金からの繰入	10,522,259	定期預金はすべて解約
4 雑収入	4,876	利息
5 繰越金	154,381	
合計	11,909,161	

支出の部

(単位：円)

項 目	決算額	備 考
1 一般会計への繰出	0	
2 周年事業会計への繰出	0	
3 その他	0	
合計	0	

総収入金額 11,909,161

総支出金額 0

次期繰越金 11,909,161

一般会計繰越金 2,293,442

特別会計繰越金 11,909,161

同窓会総資産 14,202,603

令和6年度 同窓会予算（一般会計、特別会計）執行について監査を実施した結果、適正に執行されていることを確認しました。

令和 7 年 6 月 12 日

会計監査 秋 田 公 三

会計監査

川 島 敏

第3号議案

同窓会会則（改正案）

- 第1条 本会は、岐阜県立岐南工業高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、あわせて、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
- 1 会報及び会員名簿の発行
 - 2 その他必要な事業
- 第4条 本会は、本部を岐阜県立岐南工業高等学校内に置く。
- 第5条 本会の会員は、次の通りとする。
- 正会員 岐阜市立工業学校、岐阜市立工業高等学校、岐阜県立岐南工業高等学校の卒業生及び同校に在職した者で役員会の承認した者
- 特別会員 同校の現職員と旧職員
- 第6条 本部に次の役員を置く。
- | | | |
|------|-----|--|
| 名誉会長 | 1名 | 母校の現校長とする。 |
| 顧問 | 若干名 | 本会の功労者の中から役員会で推薦する。 |
| 会長 | 1名 | 総会で選任する。 |
| 副会長 | 若干名 | 総会で選任する。 |
| 常任幹事 | 若干名 | 科別同窓会及び各支部から推薦する。必要あるときは総会で選任することもできる。 |
| 庶務 | 若干名 | 母校職員の中から委嘱する。 |
| 監査委員 | 若干名 | 総会で選任する。 |
- 第7条 役員の任務は、次の通りとする。
- 名誉会長は、会長の諮問に応じ各会議に加わる。
- 顧問は、会長の諮問に応じ必要により各会議に加わる。
- 会長は、本会を代表して会務を統括し、各会議を招集する。
- 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは代行する。
- 副会長は、それぞれ次の業務を分担する。
- 1 総務（会則・会計など）
 - 2 広報（会報・名簿など）
 - 3 会議（総会・役員会など）
- 常任幹事は、正副会長と共に本会と共に本会の運営に当る。
- 庶務は、一般の事務に従事し、うち1名は会計事務に当る。
- 監査委員は、会員及び事業の監査に当る。
- 第8条 役員の任期は、いずれも2年とする。ただし留任し得る。
- 第9条 総会は2年ごとに会計年度終了後速やかに行う。
- 必要ある場合は、臨時総会を開くこともできる。

第10条 (新)

総会のない年に行う事業報告、会計報告及び事業計画、予算は役員会の議決によって定めホームページ上に掲載し、掲載後1ヵ月の期間を経て承認の可否を決定する。尚、各議案の表決については、同窓会ホームページにアップされた総会資料の表決QRコードより行い、全回答者の3分の2以上の賛同によって可決するものとする。(メールや電話による表決も反映)

第10条 (旧)

総会のない年に行う事業報告、会計報告及び事業計画、予算は役員会の議決によって定めホームページ上に掲載する。なお決算は総会の承認を得なければならない。

第11条 総会の議決は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

第12条 第6条の役員により役員会を構成する。役員会は、重要事項の審議及び会務を処理する。

第13条 本会には、母校に設置された各科による科別同窓会を設ける。

科別同窓会は、その幹事会が具体的事項の評議・推進に当る。

第14条 会員多数の職域及び地域に分会を設けることができる。分会の代表者にて代表者会議を組織して支部を設置することができる。ただし役員会の承認を要する。

第15条 本会の経費は、入会金、寄付金及びその他の収入によってこれに充てる。

第16条 正会員は、入会の際、入会金を納入しなければならない。

入会金の金額は、別に定める。

第17条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌々年3月31日に終る。

第18条 本会則の改正は、総会の議決によるものとする。施行に要する細則は、役員会の議決により定める。

附 則 昭和55年6月 1日改正、同日より施行する。

附則1 昭和62年5月 3日改正、同日より施行する。

附則2 平成10年7月 6日改正、同日より施行する。

附則3 平成22年6月27日改正、同日より施行する。

附則4 平成26年7月 6日改正、同日より施行する。

附則5 令和 7年7月13日改正、同日より施行する。

第5号議案

令和7・8年度 事業計画（案）

総 会 役員・当番幹事会	令和7年7月 ホテルグランヴェール岐山 随 時
科別同窓会助成	組織の拡充のための助成
組織の拡充	職域組織の拡充
卒業記念品	令和7・8年度卒業生にケース入り判子
母校への助成	生徒会・部活動等への助成
広報活動	ホームページにおいて同窓会の活動を紹介 【 https://ginanthsdousou.com/ 】

令和7・8年度 一般会計予算(案)

収入の部

(単位:円)

項 目	今期 (R7・8) 予算額	前期 (R6) 予算額	前々期 (R4・5) 予算額	増 減	備 考
1 入会金	2,125,000	1,220,000	2,420,000	▲ 295,000	R7: 203名、R8: 222名 425名×5,000円
2 総会協力券	0	0	0	0	
3 雑収入	200	100	200	0	預金利息
4 繰越金	2,293,442	1,706,120	4,130,181	▲ 1,836,739	
合計	4,418,642	2,926,220	6,550,381	▲ 2,131,739	

支出の部

(単位:円)

項 目	今期 (R7・8) 予算額	前期 (R6) 予算額	前々期 (R4・5) 予算額	増 減	備 考
1 事務費	250,000	125,000	60,000	▲ 190,000	通信、消耗品費、封筒印刷
2 会議費	100,000	25,000	90,000	▲ 10,000	役員会、その他
3 事業費	2,590,000	1,720,000	2,280,000	▲ 310,000	
(総会費)	800,000	800,000	800,000	0	R7総会実施予定
(総会準備費)	50,000	50,000	50,000	0	
(慶弔費)	50,000	25,000	60,000	10,000	香典他
(組織拡充費)	10,000	5,000	10,000	0	
(科別同窓会費)	140,000	70,000	140,000	0	I科35,000円
(卒業記念品費)	640,000	320,000	320,000	▲ 320,000	印鑑
(生徒会助成費)	100,000	50,000	100,000	0	
(部活動助成費)	800,000	400,000	800,000	0	激励金等
4 特別会計へ繰出し	0	0	2,000,000	2,000,000	
5 予備費	1,478,642	1,056,220	2,120,381	641,739	
合計	4,418,642	2,926,220	6,550,381	2,131,739	

躍進する岐南工**岐南工の部・研究会活動 1年のあゆみ****体育系部活動****バレーボール**

新チームのスタートとなる1月の県高校新人大会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2年連続の中止となった。このため初めての公式戦がインターハイ予選となったが準々決勝でフルセットの末敗れた。11月の全国選手権大会県予選での巻き返しを図ったもののベスト8にて大会を終えた。昨年までと比べて少しずつではあるものの練習を行う環境が戻りつつあり、今後の選手たちの巻き返しに次年度以降期待したい。

レスリング

5月開催の県総体では団体戦こそ優勝を逃したが個人戦では、フリー、グレコの両スタイルで優勝し全国総体出場を決めた。10月開催の新人大会では1・2年生の新チームで挑んだ。団体戦では例年のようなポイントゲッターとなる選手がいない中、僅差の試合を競り勝ち3年ぶりの団体優勝を果たした。

**自転車競技**

令和4年3月に実施された全国高等学校選抜自転車競技大会においてはスクラッチで2位、ポイントレースで3位と全国優勝まであと一步でした。全国高等学校総合体育大会では、4kmチームパーシュートで6位入賞することができた。令和5年3月に実施される全国高等学校選抜自転車競技大会では新チームとして2年生5名1年生1名の合計6名の選手が全国の舞台で活躍できるよう期待したい。

**バスケットボール**

今年度の大会もコロナ禍での大会となった。しかし、今年度は保護者の観戦ができるようになり、生徒たちは日頃の成果を大会で見せることができた。多くの試合で粘り強く戦い、勝ち切ることができるチームになってきた。三年生の生徒は引退後、後輩たちのために教えに来る姿があり、とてもうれしく思っている。今後の大会では県大会ベスト8を目指して、日々の練習から頑張っ活動していきたい。

ラグビーフットボール

キャプテンを中心に行動し、仲間を信じ、スタッフを信じ、家族の熱いサポートに感謝の心をもって、最後の最後まで体を張ったプレーで自分たちのラグビーを貫き通した。さまざまな困難で失敗を繰り返しながらも、仲間たちと汗を流し、ぶつかり合い、喜び、苦しみ、悔しさを味わい、熱く高い涙を流せた時間をともにできたことを誇りに思う。

**硬式野球**

本年度は、粘り強い試合を展開することができ、接戦を勝ち切れることが多くあった。3年生は、学校生活の姿や

野球に取り組む姿勢、チーム貢献の姿勢など、模範となってくれた。夏以降は、後輩たちが引継ぎ、さらに良いチームを築き上げようと部員一人ひとりが活動を行っている。今後も『成長したい』『勝ってみんなで喜びたい』『野球を楽しみたい』という強い志を持って活動を継続していく。

**テニス**

今年度は県大会でベスト8を目標に練習を続けてきた、4月の県総体では団体戦とダブルス1ペアが出場することが出来た。9月に行われた新人戦県大会では強豪が多くいる中、県ベスト16という結果を残すことができ、12月の強化合同練習会の結果も新人戦と同じようにベスト16という結果になった。様々な試合を経験し、現2年生が出場できる大会は令和5年度のIHのみとなった。現在県ベスト8という目標に向かって毎日練習に取り組んでいる。

陸上競技

今年度は、新型コロナウイルスの規制が緩和され活動時間が十分に取れた。それに伴い、部員たちの目標も明確になった。

県総体では、リレー1種目、個人競技4種目で入賞し多くの選手が東海総体に出場した。

10月の県新人大会でも、400m、ハンマー投、1600mRで入賞するなど、着実に力をつけた。

来年度も、努力を重ね、一人でも多くの生徒が目標を達成し、活躍する姿を期待している。

**卓球**

今年度は5月の県総体で初のベスト4に入り、東海総体へ出場し良いスタートを切ることができた。新チームとなつてからは、東海大会で勝ち、全国大会に出場することを目標に毎日の練習に励んだ。県新人戦では準優勝することができ、12月の東海選抜で全国選抜の出場権を得ることができた。個人での全国大会出場はあったものの、団体での全国大会出場は創部初の快挙である。今後は全国で勝つことを目標により一層努力していきたい。

**剣道**

3年生引退後は、1,2年生3人で活動した。部員数が少なく、練習に工夫が必要であった。3人とも有段者であるので、更なる技術向上を目標とし、充実した練習ができた。週2日の少ない活動であったが、講師の高橋英夫先生(剣道七段)にご指導をいただき、緊張感のある練習ができた。高体連主催の試合では、合同チームとして団体戦に出場した。他校とチームを組み出場することで、刺激があり、良い勉強になった。



弓 道

今年度は女子部員がそろいインターハイ予選、全国選抜予選と女子で団体出場することができた。しかしコロナ禍においての練習不足等で良い成績を収めることはできなかった。男子においても同様で、県大会に出場するも、上位に食い込むことはできなかった。

今後礼節を重んじながら、精神的な成長と技術的な向上を目標に日々精進していきたい。

文化系部活動

園 芸

○令和4年度のテーマと活動内容

- ①植物から「愛情」と「生」の尊さを学び、植物とともに成長する。
- ②植物の三要素を学ぶ。
- ③サツマイモの栽培について学ぶ。
- ④朝顔の栽培について学ぶ。
- ⑤草取りと耕作、培養土の敷き詰めについて。
- ⑥パイオ苗の寄せ植えのしかたと実践。
- ⑦収穫と収穫物の仕分け。

新 聞

今年度は第1号の「新転入の先生方の紹介」を活動の初めとして発行した。紹介であるために早く発行するという事で急いだ。次は秋の発行となり夏に行われた全国総合文化祭東京大会に参加したので、その様子を参加した2名の記事を掲載した。それに岐阜県総合文化祭の記事も併せて載せた。そして今年度の最後は、世の中の経済状況についての記事を掲載する予定である。

写 真

今年度もコロナ禍の活動でしたが、高文連の写真展に参加する事が出来ました。結果は優秀賞と奨励賞を頂くことが出来ました。優秀賞は、全国総合文化祭への参加候補作品となるので、更なる高みを目指して頑張っていきたい。



放 送

今年度も、新型コロナウイルスの影響が大きく、活動が制限された。特に校内行事のアナウンスなどの仕事ができない状態は、今年で3年目となり従来の活動を経験した生徒はいない状況となり、今後が心配される。

今年は3年生の部員がおらず、日々の活動は2年生を中心に、朝の始業前の呼びかけと、映像制作技術の習得を中心に進めている。来年は、学校行事のアナウンスや、音響・照明業務の確認と映像制作を頑張りたい。

吹奏楽

吹奏楽部はみんなで音楽を創る楽しさを味わうとともに、コンクールやアンサンブルコンテスト等への参加、企業・施設からの依頼演奏、硬式野球部の応援、式典での演奏などを行い、地域、学校に貢献しています。

本年度は夏のコンクールで金賞を受賞し、モレラ岐阜

での演奏、信長まつり等、コロナ禍において、屋外の演奏会を多く行いました。1月には定期演奏会も実施し、YOUTUBEでの配信も行うなど幅広く活動をしています。

図 書

本校図書部は、読書に親しみ、読書の楽しさを伝えるための活動を主に行ってきた。読書会や自分が推薦する本のよさを伝えPOPづくり等を行った。学校祭では、トリックアートに挑戦し、作品を展示した。コロナ禍で、生徒がイベント等に参加した経験が少なく、今回トリックアートの作成を行ったことで、来年度以降のイベント等に充実した活動に繋げていきたい。



書 道

今年度は、共同作品として『耳無し芳一』の芳一像を作成した。緻密な作業に苦勞した面もあったが、部員全員で協力し意欲的に取り組むことができた。

また、文化祭では書道パフォーマンスを披露した。クラス展示や発表の活動がある中、時間を見つけて発表準備や書の練習に取り組んだ。本番では迫力のあるパフォーマンスを披露することができ、大成功を収めた。



美 術

今年度は3回の作品展に出品し、優秀賞など入賞することができた。また、岐阜県高等学校総合文化祭美術工芸部門でも奨励賞を受賞し、成果をあげている。生徒が参加できる行事も少しずつ増えてきており、作品展の搬入出では1年生部員が活躍した。文化祭では生徒考案によるライブペイントを実施し、協力して創造する難しさと喜びを経験し、とても有意義なものとなった。



研 究 会

機械研究会

機械研究会では大きく2つの班に分かれて活動している。省エネカーレース製作班では、自分達で製作した省エネカーで、Honda エコマイレージチャレンジ鈴鹿大会とEcono Power IN GIFU 大会に参加している。ものづくり班ではものづくりコンテスト岐阜県大会に2名が参加している。また資格取得では両班ともが技能検定普通旋盤作業、機械検査作業及び機械保全作業に挑戦している。



自動車研究会

今年もコロナ禍の中、限られた活動時間の中での取り組みではあったが、ものづくりコンテスト、エコラン鈴鹿大会・岐阜大会、また、3年ぶりのボランティア活動にも参加でき、部員にとって貴重な体験となり活動に対するモチベーションの維持にも繋がった。

引き続き、来年度以降の各種大会、行事に向け地道に準備を進めていきたい。



電気研究会

本年度、自動車整備士PRコンテンツ大賞では「国土交通大臣賞」、パテントコンテストでは「日本弁理士会会長賞」を含めた優秀賞2作品、衛星設計コンテストでは「宇宙科学振興会賞」など、数多くの全国規模のコンテストで実績を残すことができました。また、いろいろなコンテストにおいて、他学科とコラボを積極的に行いました。次年度も新しい価値の創造を目標に取り組んでいきます。



電子研究会

今年度電子研究会は、CU ロボコン 2022:チーム名「チームK」で参加し13位/18チームという成績でとても悔しい結果となった。県ものづくりコンテスト「電子回路組立て」に2年生1名と1年生2名が出場し、1名が7位入賞することができた。地域連携した岐阜科学塾テクノスクール2022の活動を行い、「micro:bit」を使って中学生にプログラミングを通じてものづくりの楽しさを体験した。



建築研究会

今年は、昨年度から継続して取り組んできた、建築大工、

左官の技能検定試験を受験した。春先に新型コロナウイルスのため、活動やマイスターによる技能講習会ができず、短い時間での取り組みとなった。目標を持って、全員合格を目指し、日々の活動で努力して取り組んだ。



土木研究会

今年度土木研究会は、徐々に各種学校行事・イベントの自粛が解かれたことにより、例年のように幅広く活動を行うことができた。また、各自でのづくりや資格取得に取り組み、目標達成に向けて努力した。ものづくりコンテストに向けた取り組みでは、早朝より練習を開始し、全国大会に出場し、日本一を勝ち取ることを目指して努力を重ねてきた。その結果、岐阜県大会では優勝を果たすことができた。一人一人が積み重ねた経験を次年度以降に活かしてもらいたい。



理数工学研究会

大学への進学や優良企業への就職、どちらにも対応できる高い学力の定着をめざし、日々学習に取り組む。主に数学、英語の学力の伸長を図り、主体的に学ぶ姿勢、習慣を身につける。更に、毎週土曜日も学習室で学習し、学ぶ意欲を維持する、予定であった。しかしコロナ禍のため集まることもできず、土曜日の学習もできなかった。ただ考査前の学習会だけはできた。

令和4年度顕彰規定による表彰者(3年生)

☆金賞☆

機械科	池本 佳史	江崎 翔哉	大塚 乃吾	
	大鋸 史人	山内 土夢		5名
自動車科	宮代 蒼生			1名
電気科	飯吉 弥大	伊神 翔矢	宇佐美伽偉	
	大下 琉空	太田 善	小川 裕也	
	小串 舜弥	甲斐 悠哉	片島 之都	
	加藤 優人	木村 真大	小堀 僚	
	酒井 海翔	櫻井 空歩	鹿野 那菜	
	島崎 光廣	新川 陽平	末次 翔永	
	高橋 飛竜	田中 大斗	塚原 滉翔	
	戸田 雅也	中田 征佑	早川 拓翔	
	林 依月	日比野真弥	増田 陽太	
	松本 悠	水谷 唯	箕浦 陸	
電子科	渡辺 一先	渡邊 大武		32名
	飯沼 佑斗	小林 京雅	小原 大雅	
	佐柳 光哉	白木 文也	高橋 秀太	
	棚橋 亜文	林 柊磨	松波 倫子	
建築科	湯下 友也			10名
	浅野 凱斗	大株 歩夢	越智 一護	
	垣見 帆乃	片野 榮心	加藤 そら	
	上島 陸翔	河尻 颯真	栗山 楓希	
	小出 彩世	小見山晴斗	小森 健生	

猿渡	陽日	志知	慶音	篠田	亮輔
鈴木	逸仁	高木	楓	高橋	輝大
高山	柊羽	田澤	龍	田中	敬蔵
戸松	隼	野口	一	芳賀	瑠介
林	樹	日比	映斗	平井	佑奈
平賀	蓮人	堀	結翔	堀之上	友樹
松久	善樹	横山	開都	和田	悠利
					33名
伊藤	魁馬	植松	祐宇	小野連	太郎
國井	成剛	小酒井	悠久	酒井	元汰
佐々木	大和	杉山	大晟	高原	柊斗
田中勢	流輝	田中	雄都	津坂	拓馬
永田	翔瑚	羽場	大輝	船坂	誠和
松田	和樹	丸岡	大輝	ミコ	
森川	大樹	山田	始利	横山	俊哲
					21名

顕彰制度

実践力を持つ技術者として資質の向上と学習意欲の増進を図るため、資格取得と検定合格を推奨しています。

校内の規定の取得点数により優秀者には金・銀・銅賞が授与され、金賞については3年次に表彰を行います。

躍進する岐南工

岐南工の部・研究会活動 1年のあゆみ

体育系部活動

バレーボール

大会2連覇をかけた県高校新人大会で、優勝した県岐阜商とフルセットの激闘の末敗れた。敗れはしたものの手応えをもって臨んだ県総体でしたが準々決勝で惨敗、11月の全国選手権大会県予選での巻き返しを図ったもののベスト8にて大会を終えた。部員数も激減している現状ではあるが、一致団結して明るく元気に活動していきたい。



レスリング

5月開催の県総体では優勝を逃し全国大会への出場は叶わなかったが、2名の選手が東海総体への出場権を得た。10月開催の新人大会では1・2年生の新チームで挑み、部員5名全員が各階級で入賞し、11月開催の東海選抜大会に出場した。5名で挑んだ東海選抜大会では125kg級で優勝し、3月開催の全国選抜大会への出場権を得た。今後とも全国大会の舞台で活躍できるよう努力を重ねていきたい。

自転車競技

令和5年3月に実施された全国選抜自転車競技大会においてはポイントレース5位、1km タイムトライアル6位、4km 速度競走8位で全国優勝まであと一步でした。県総体及び、東海総体では学校対抗総合優勝することができた。インターハイでは4km チームパーシュートで6位入賞することができた。令和6年3月に実施される全国高等学校選抜自転車競技大会では6名が出場で、全国の舞台で活躍できるよう期待したい。

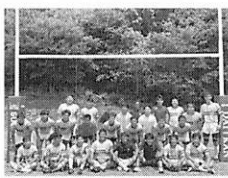


バスケットボール

今年度は高校総体で満足いく結果が出せず悔しいスタートとなった。しかし、悔しい思いをした分、練習に真剣に取り組み、選手たちが自分たちで話す機会を増やし、成長が著しい一年であった。昨年度リーグ戦で勝ち切ることができず、3部リーグに残留となったが、今年度はグループリーグを全勝優勝し、決勝トーナメントも全勝1位通過した。無事入替戦も勝ち切ることができ、また来年度より良い結果を出せるように頑張って活動したい。

ラグビーフットボール

「花園出場！」をスローガンに、グラウンドではラグビーIQの理解、技術の向上、フィジカルの強化を重点に、グラウンドを離れば紳士たれ！（ラグビーは紳士のスポーツと言われる）を目指して取り組んだ。5月の県総体では初戦敗退となったが、2度にわたる夏合宿で強化を図り、11月の全国予選ではリベンジを果たし3位になった。今後は全国大会出場を目標により一層楽しんでいきたい。



硬式野球

本年度は、春季大会において、8年ぶりに地区予選を突破し、県大会に出場することができた。一方、夏の選手権岐阜大会では、壮絶な打ち合いの結果、悔しい敗戦となった。酷暑の中、球場に足を運んで頂いた多くの方々に、勝利の喜びをもたらすことが出来なかった。夏に勝利することの難しさを痛感した。来年こそは、球場で歓喜の中、校歌を斉唱できるように日々の活動をしていきたい。



テニス

今年度は県大会でベスト8を目標に練習を続けてきた。しかし、県総体や新人戦では、地区大会の決勝戦で敗退という結果になってしまいました。12月の強化合同練習会のダブルスでは1ペアが予選を突破し、本戦に出場することができました。初心者から始める部員が多いテニス部ですが、様々な試合を経験し、成長することができた。現2年生が出場できる大会は令和6年度のIHのみとなった。現在県大会ベスト16という目標に向かって毎日練習に取り組んでいる。



陸上競技

今年度は、県総体で400mとハンマー投で入賞し東海総体に出場した。7月の県選手権で、大学生や一般選手と競う中で、400mとハンマー投で入賞し東海選手権に出場した。9月の県新人大会でも、5000m、ハンマー投で入賞し、東海新人に出場した。

来年度、少ない部員数になっても、それぞれが努力を重ね、一人でも多くの生徒が目標を達成し、活躍する姿を期待している。



卓球

昨年度の3月に創部初の全国選拔出場を果たし、そこで2勝を挙げ「全国ベスト16」にあと一步のところまで迫った。自信と悔しさを胸に今年度もインターハイ、全国選抜の出場を目指して練習に励んできたが、惜しくも届かなかった。しかし、個人で全日本卓球選手権に出場するなど、努力が結果として着実に表れてきている。支えていただいている周りの方に感謝し、より一層活躍できるように頑張っていきたい。



剣道

有段者を中心に、練習に工夫を凝らし、集中して練習に取り組むことができた。

昨年度は、部員数が少なく、男女ともに団体戦は合同チームとして出場していたが、今年度男子は、岐南工業高校チームとして出場をすることができた。今後結果が残せるよう謙虚に練習に取り組んでいきたい。



い。

女子は、他校と合同チームで出場することで、他校からの刺激を技術向上に生かしていきたい。

弓道

日々練習を積み重ね、技術力・精神力の向上を目指して頑張っている。しかし、練習では的中があっても、いざ本番となるとなかなか成果が出ない年であった。結果としてインターハイ地区予選では地区2位とそれなりの結果を出せたが、県大会に出場することはかなわなかった。今後も練習に励み、さらなる高みを目指していきたい。

文化系部活動

園芸

今年度はコットンフラワーを育て、SDGsへの取り組みを実施した。また校内に、多肉植物や観葉植物の寄せ植え等を常設し、定期的に寄せ植え作品を制作・展示した。来年度で閉部となるため、今年度は2・3年生での活動となったが、少人数となっても作品を作り続けたい。



新聞

今年度は新聞を三号発行した。新年度の教員の紹介と卒業記念号と八十周年記念号である。

活動としては夏にプレ大会に参加、また、秋にプレ総文祭の新聞大会を中津川市の会場で参加し、明年度の総文祭に向かって運営の仕方を学んだ。来年度は集大成であるので頑張りたい。

写真

今年度は高文連プレ大会が岐阜で開催され、パレードの準備をしたり、岐阜公園の写真撮影大会および高文連の写真展に参加する事が出来ました。結果は奨励賞を頂くことが出来ました。来年度は全国総合文化祭の岐阜大会に向けて更なる高みを目指して頑張っていきたい。



放送

制限されてきた学校行事やコンテストが再開され、活動の場が広がった。今年度は、動画編集ソフトとコンピュータ、ビデオカメラをPTA費から購入していただけたので、昨年度末からの構想であった「西岐阜周辺の魅力」というテーマでコンテストへの参加ができた。また、放送の基本である「話す」部門にも日々の練習を充実させ、コンテストの朗読部門にも積極的に参加できた。来年度は新入部員を募り、継承・充実していきたい。



吹奏楽

吹奏楽部はみんなで音楽を創る楽しさを味わうとともに、コンクールやアンサンブルコンテスト等への参加、硬式野球部の応援、学校行事や式典での演奏を行い、地域や学校に貢献しています。

今年度は演奏だけではなく、総文祭のプレ大会において、パレード部門の補助員もさせていただきました。1月には定期演奏会を実施し、YOUTUBEでの配信も行い、多くのお客様にお聴きいただくことができました。

図書

図書部は、読書に親しみ、読書の楽しさを伝えるための活動をしている。今年度は文化祭で「豆本ストラップをつくろう!」という体験イベントを行った。53人が体験してくれた。



来年度は、読書の楽しさを積極的に発信していきたい。



書道

今年度は、『芥川龍之介』をテーマにした共同作品を作成した。銀焼きに初めて挑戦した。部員で書いた文字の調和が評価され、大賞を受賞することができた。

また、文化祭では書道パフォーマンスを披露した。作品を見せるための紙の作成、息を合わせて披露するために練習を重ねた。本番では迫力のあるパフォーマンスを成功させることができた。



美術

今年度は岐阜地区高校美術展で優秀賞に選出された5作品を、ぎふ総文プレ大会に出品することができた。文化祭では昨年に続き、ライブペイントを実施した。多くの観客に見守られながら、パフォーマンスを交えて制作し、協力して創造する楽しさや楽しさを経験した。新しい試みでは地元の本荘神社の大絵馬を依頼され、干支の龍を書道部と協力して制作した。令和6年度のぎふ総文に向けて、実行委員として活躍してもらいたい。



研究会

機械研究会

機械研究会では大きく2つの班に分かれて活動している。ものづくり班は、ものづくりコンテスト岐阜県大会に2名が参加している。省エネカーレース製作班では、自分達で製作した省エネカーで、Hondaエコマイレージチャレンジ鈴鹿大会とEcono Power IN GIFU大会に参加している。また資格取得では両班ともが技能検定普通旋盤作業、機械検査作業及び機械保全作業に挑戦している。



自動車研究会

今年度は毎年活動しているものづくりコンテスト、省エネカーレース、ボランティア活動に加えて、ゼロハーカーレースに初挑戦した。引き続き



き部員がそれぞれの活動に精力的に取り組み各種大会・行事に向け準備を進めていきたい。

電気研究会

本年度、デザインパテントコンテストでは「独立行政法人工業所有権情報・研修館理事長賞」を含めた優秀賞5作品をはじめ、数多くの全国規模のコンテストで実績を残すことができました。また、工業高校生ものづくりコンテスト電気工事部門では、県大会優勝・東海大会第3位と、過去最高の成果を残すことができました。次年度も新しい価値の創造を目標に取り組んでいきます。

電子研究会

今年度電子研究会は、CU ロボコン 2023 に2チームで参加し、26チーム中8位と11位の成績で他校との実力差を感じる悔しい結果となった。県ものづくりコンテスト「電子回路組立て」に3名が出場し、2年生1名が3位入賞することができた。地域連携した岐阜科学塾テクノスクール 2023 の活動を行い、「micro:Bit」を使って中学生にプログラミングを通じてものづくりの楽しさを体験した。



建築研究会

今年も継続して取り組んできた、建築大工、左官の技能検定試験を受験した。昨年度行うことのできなかったマイスターによる講習会が実施でき、プロから技術指導していただき技術向上につな



がった。目標を持って、全員合格を目指し、日々の活動で努力して取り組んだ。

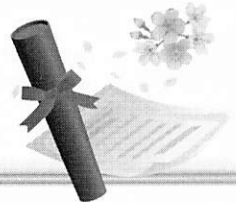
土木研究会

今年度土木研究会は、各種学校行事・イベントの制限が緩和されたことにより、例年よりさらに幅広く活動を行うことができた。また、各自でものづくりや資格取得に取り組む、目標達成に向けて努力した。ものづくりコンテストに向けた取り組みでは、早朝より練習を開始し、全国大会出場を目指して努力を重ねてきた。東海大会では、全力を尽くしたものの一步及ばず、全国大会への出場は叶わなかったが、とても良い経験となった。一人一人が積み重ねた経験を次年度以降に活かしたい。



理数工学研究会

大学への進学や優良企業への就職、どちらにも対応できる高い学力の定着をめざし、日々学習に取り組む。主に数学、英語の学力の伸長を図り、主体的に学ぶ姿勢、習慣を身につける。更に、毎週土曜日も学習室で学習し、学ぶ意欲を維持する、予定であった。しかしコロナ禍のため集まることもできず、土曜日の学習もできなかった。ただ考査前の学習会だけはできた。



令和5年度顕彰規定による表彰者(3年生)

☆金賞☆

機械科	田中 理央	長江 龍	古田 一牙
	三谷 遙	浅野 彰悟	鷺見 隼杜
	日比野来嘉	三輪 徳也	8名

自動車科

該当者なし

電気科	足立 健人	新垣 輝季	植松 虹光
	江間亜柘樹	小川 瑠大	加藤 光希
	車 環汰	桑波田陸斗	鋤田 晃平
	竹内 孔志	武田 優	辰己 大和
	中嶋 鳳貴	西部 瑛翔	野田 了真
	松井 勇磨	松浦 由晋	溝口 幹大
	御宿 雅基	吉田 旭翔	渡邊 凌世
			21名

電子科	石田 拓巳	磯部 紘輝	遠藤 煌珂
	奥田 尚希	加藤 晴希	櫻井 霸流
	柴田 蒼空	島塚 大輝	棚橋 蓮次
	中村 翼	西脇 夕稀	三浦 大知
	山田 直弥	輪方 賢人	14名

建築科	伊藤 風哉	井上 喬哉	今井 美希
	大野 凌雅	奥村 樹弘	加納 章吾
	坂井ひめか	鹿野 愛斗	清水 恒次
	中村 光希	野々村至恩	林 咲良
	平尾 昊	松原 拓海	向畑 凜
	村瀬 彰一	安江 春翔	17名

土木科	阿部煌太郎	岩佐 美里	柴田幸太郎
	土本 乃愛	森 菜都	5名

顕彰制度

実践力を持つ技術者として資質の向上と学習意欲の増進を図るため、資格取得と検定合格を推奨しています。

校内の規定の取得点数により優秀者には金・銀・銅賞が授与され、金賞については3年次に表彰を行います。

進 ず る 岐 南 工

岐南工の部・研究会活動 1年のあゆみ

体育系部活動

バレーボール

主力選手が多く抜けて厳しい新チームのスタートとなった県高校新人大会はどうかシード権を確保した。そして新入生を迎えて4月からの各大会での巻き返しを図ろうとした。その手ごたえは早速あらわれ、夏を過ぎた選手権に向けて優勝にからめるものと考えていた。しかしながら主力選手が離脱するなどした結果、ここ数年で最も力なく敗れる結果となった。

ここ数年、コロナ感染予防による規制があつてからは、入部した部員が数多く退部することや、体調不良や放課後の補習などで活動を休み全員が揃って練習ができないなど、部活動を取り巻く環境や価値観が大きく変化していることを感じている。そんな状況ではあるものの全国大会出場を目指し、明るく元気に競技に向き合っていってほしいと願っている。

レスリング

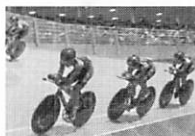
6月開催の東海総体個人戦では、2年ぶりに2名の優勝者を出した。全国総体では5位国民スポーツ大会では3位に入賞した。

近年東海大会優勝、全国大会入賞から遠のいていたが蒔いた種がやっと芽吹いてきた。

本校では高校から競技を始める選手ばかりだが、その伸び代がある。努力を積み重ね来年度の飛躍につなげたい。

自転車競技

令和6年3月に実施された全国選抜自転車競技大会においてはスプリント2位、3km個人追い抜き競走5位、女子スプリント8位で全国優勝まであと一歩であった。県総体では学校対抗2位、東海総体では学校対抗総合優勝することができた。インターハイでは4kmチームパーシュートで優勝、3km個人追い抜き競走5位入賞することができた。令和7年3月に実施される全国高等学校選抜自転車競技大会では5名が出場で、全国の舞台で活躍できるよう期待したい。



バスケットボール

今年度は高校総体地区予選で優勝し、県大会ではチームの目標であるベスト8となった。また選抜大会でもベスト8となり、2大会続けて例年にない功績を飾ることができた。また2部リーグでは全勝で迎えた最終戦で惜しくも1点差で敗れ、2部リーグ2位という結果にとどまった。1・2年生の新チームになり、チームの平均身長は大幅にサイズダウンするが、小さくても勝てるチームを目指し、より一層活躍できるよう努力していきたい。

ラグビーフットボール

「花園出場！」をスローガンに、グラウンドではラグビーIQの理解、技術の向上、フィジカルの強化を重点に、グラウンドを離れば紳士たれ！（ラグビーは紳士のスポーツと言われ



る）を目指して取り組んだ。5月の県総体では初戦を突破し3位となり、2度にわたる夏合宿で強化を図り、11月の全国予選では2年連続の3位となった。今後は部員集めと全国大会出場を目標により一層楽しんでいきたい。

硬式野球

夏の選手権岐阜大会では、チーム一丸となって我慢強く戦ったが、勝利することはできなかった。しかし、相手に立ち向かっていく姿勢や日々の取り組みの大切さなど、3年生が多くのことを後輩たちに伝えてくれた。

来年こそは、応援して頂いた方々が、球場で歓喜の中、校歌を斉唱できるように精進していきたい。



テニス

昨年度は県大会に出場できなかったが、今年度は県総体団体戦で県ベスト8、新人戦団体戦で県ベスト8という結果を残すことができた。また、個人戦でもダブルスで予選を勝ち抜き、県大会に出場することができた。初心者から始める部員が多いテニス部だが、様々な試合を経験し成長することができた。来年度は県大会ベスト4を目指して、楽しく活動していきたい。



陸上競技

今年度は、県総体でハンマー投が3位に入賞し東海総体に出場した。7月の県選手権では、大学生や一般選手と競う中で、5000mが4位に入賞し東海選手権に出場した。9月の県新人大会でもハンマー投で入賞した。11月の県駅伝ではチームとしては9位であったが、1区で各チームエースが揃う中、区間賞を勝ち取ることができた。また、そのような活躍もあって今年度初となる全国都道府県対抗男子駅伝競走大会への候補選手に選ばれた。



卓球

今年度もインターハイ予選、県新人戦と共にベスト4に入り、県の中では確実に上位に入り、東海大会にも常連のチームになってきている。2年生がチームの中心となり、練習にも一生懸命取り組み、力を大きく伸ばした。また人間的にも成長したと感じられる。しかし、目標は全国大会に出場することである。来年度はその2年生の最終学年となるので活躍に期待したい。



剣道

有段者は、試合に向けての練習だけでなく、昇段審査の練習にも取り組み更なる技術の向上に努めた。初心者、11月に実施される公式戦に出場することを目標に基礎基本から練習をした。力の差があるが、個の力に合わせ、目標を持ち練習ができた。

今後の目標は、公式戦で結果が残せるよう謙虚に練習に取り組んでいくことである。



弓道

日々練習を積み重ね、技術力・精神力の向上を目指して頑張っている。しかし、練習では的中があっても、いざ本

番となるとなかなか成果がだせないことが多かった。インターハイ地区予選では団体2位となったが、県大会出場はできなかった。今後も礼節を重んじながら、精神的な成長と技術的な向上を目標に日々精進していきたい。

文化系部活動

園芸

今年度は保健室前の中庭で枝豆を育て、食育について考える機会としました。また文化祭では、寄せ植え体験を実施し、園芸の楽しさを伝えることができました。

今年度で閉部となりますが、多くの方々に支えられ活動することができました。今までありがとうございました。



新聞

今年度は全国総合文化祭岐阜大会が開催され新聞部会は中津川市が会場で本校からは選手2名、運営委員として4名が参加した。大会は大成功で生徒諸君もそれぞれ力を発揮した。

写真

今年は全国高等学校総合文化祭が岐阜県で開催されました。全国大会の役割を通して他県の生徒との交流や優秀作品を鑑賞することが生徒にとって写真技術の伸長の要素となりました。また県美術館での一般の展示作品の見学では写真を撮る視点により、主張したい作品の目的に違いを感じることができました。

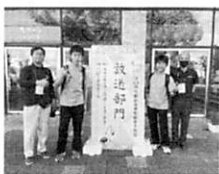
発表作品では県内の各種コンテストの他にカメラメーカーの主催による人、物、制服等をテーマにした作品にも出品しました。

本校の活動では部活動や学校行事の記録写真を撮ったり、文化祭や本館の通路に写真展示をしました。これらを通して全校生徒にも写真の良さを伝えることができました。

次年度に於いてもさらに写真技術の向上を目指して活躍していきます。

放送

多治見で開催された全国総合文化祭では、放送部門要員として運営に貢献できた。高文祭において動画参加はできなかったが、前年度購入した動画編集ソフトとコンピュータ、ビデオカメラにて、作品「薬物依存症の恐怖」を完成させ、文化祭にて発表することができた。また、放送の基本である話す力の向上のため日々の練習を充実させ、コンテストの朗読部門にも積極的に参加できた。来年度は新入部員を募り、継承・充実をしていきたい。



吹奏楽

今年度より吹奏楽部の部訓を「音で心を磨く」とし、音楽演奏を通して心を磨き上げ、健全な精神を養っていくことを進めてきました。活動はお昼に開催した中庭コンサートを始め、各種コンクールへの参加、学校行事や式典での演奏を行うとともに、地域へ出向きミニ・コンサートを開催して、能登半島地震被災地救援の募金活動を行いました。

第28回定期演奏会も無事終了することができ、充実した一年となりました。

図書

図書部は、読書に親しみ、お勧め本の紹介POPを作るなどして、読書の楽しさを伝える活動をしている。今年度

は文化祭で「しおりを作ろう!」という体験イベントを行った。約70名の参加者には、部員が作った豆本ストラップをプレゼントした。

来年度は、ビブリオバトルにも挑戦していきたい。



書道

県総合文化祭では鑄造に挑戦し、作品を製作した。岐阜県で開催された全国総合文化祭に特別企画として俳句を出品したり、補助員として会場設営に携わった。柳ヶ瀬で開催された書道パフォーマンスに参加し、第3位の結果を得た。直後に行われた文化祭では2つの演技を披露した。地域の神社に絵馬を奉納した。活動時間が短い中協力して取り組むことができた。



美術

個人制作では、岐阜県青少年美術展デザイン部門で1点入選、羽島市美術展絵画部門で1点入選した。今年は令和6年度全国総文ぎふ大会が7月31日～8月5日に開催され、岐阜県美術館、岐阜県図書館に全国作品の展示、本校は生徒交流会の会場となり、生徒たちは県内の他校の生徒たちと協力して、実行委員として活動した。

文化祭では、美術室の窓にトリックアートで恐竜を共同で制作し、作品展示をした。協力して創造する難しさや楽しさを経験し、有意義なものとなった。

また、昨年に続き地域の本荘神社奉賛会から神社に飾る新年の干支「巳」の絵馬の制作を依頼され、書道部との共同制作で仕上げた。

共同制作の機会が多かった1年であったが、次年度は個人制作にも磨きをかけていきたい。



研究会

機械工学研究会

機械研究会では大きく2つの班に分かれて活動している。ものづくり班は、技能検定に挑戦し自身の技能を高め、ものづくりコンテスト岐阜県大会に2名が参加している。省エネカーレース製作班では、自分達で製作した省エネカーで、Hondaエコマイレージチャレンジ鈴鹿大会とEco no PowerINGIFU大会に参加している。またミニSLの運行も行っており、地域のイベントに参加し、多くの子供に喜んでもらうことができた。



自動車工学研究会

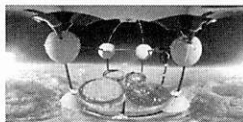
今年度も、長良公園イベント参加、ものづくりコンテスト、若年者ものづくり競技会、ゼロハンカーレース、省エネカーレースの参加などをしてきました。今年度は久しぶりに、誠心寮のイベントにも参加しました。若年者ものづくり競技大会では、初めて「敢闘賞」をもらうことが出来ました。



来年度に向け、頑張っていきます。

電気工学会

本年度も各種コンテストと各種プロジェクトに取り組んだ。特筆すべき事として、パテントコンテストにおいて最優秀賞に該当する選考委員長特別賞を受賞した事と、そらLab2024で最優秀賞を受賞した事が挙げられる。また、昨年度にデザインパテントコンテストで特別賞を受賞した「ゆで卵殻わり器」の商品化を目指す取り組みが、テレビ朝日の「ナニコレ珍百景」で1年間にわたり複数回放送されるなど、コンテスト以外でも生徒が活躍した1年となった。



電子工学会

本年度は、7月27日(土)に中部大学でCUロボコン2024に2チーム参加し、34チーム中18位という成績で他校との実力差を感じる悔しい結果となった。6月18日には、加納幼稚園でテクノランドを開催し、電子工学科の研究会メンバも参加して園児に積木体験してもらった。12月14日(土)に県ものづくりコンテスト「電子回路組立て」に3名が出場し、出場選手12名の中で、1年生が2位入賞することができ、夏に行われる東海大会への出場を手に入れた。



建築工学会

今年も継続して取り組んできた、建築大工、左官の技能検定試験を受験した。今年度も、毎年行っているマイスターによる講習会が実施でき、プロから技術指導していただき技術向上につながった。目標を持って、全員合格を目指し、日々の活動で努力して取り組んだ。

土木工学会

今年度も土木研究会は、学校行事をはじめ各種イベントに積極的に参加できた。毎年恒例となった、高校野球夏の県大会開会式のラインの測量や、幼稚園への出前授業。さらには中学生対象の「テクノスクール」、一般の方が参加する「サイエンスフェスティバル」等、多くの方々と触れ合いながら楽しく土木の魅力を発信することができた。また、「ものづくりコンテスト測量部門」では、2年生2人と1年生1人の3人でチームをつくり県大会に臨んだ。結果、準優勝ではあったが東海大会に出場できるようになった。これからも練習に励み、東海大会を勝ち抜いて全国大会出場できる力を付け、さらには平成27年度以来の全国優勝を目指して頑張っていきたい。

理数工学会

大学への進学や優良企業への就職、どちらにも対応できる高い学力の定着をめざし、日々学習に取り組んだ。主に英語の学力の伸長を図り、主体的に学ぶ姿勢、習慣を身につけてきた。更に、毎週土曜日も学習室で学習し、学ぶ意欲を維持しようとした。

令和6年度顕彰規定による表彰者(3年生)

☆金賞☆

機械工学科 浅井 星七 小島 史誉 林 和輝
山中 埜蒼 尾畑 力輝 藤田 将多
村瀬 健 森永 琉希 8名

自動車工学科 高井 駿 中野 結生 2名

電気工学科 秋吉 風汰 安藤 健伸 安藤 心音
伊藤 和哉 臼井 翔哉 岡田 真音
岡元 一真 尾関 凌 片山 将吾
加藤 匠真 加藤 雅也 日下部翔琉
久野 瑛亮 小瀬 脩矢 後藤明日真
酒井 朋希 坂井 豹生 坂北 希心
高橋 聖也 多川 雅堅 田村 優樹
坪井 友哉 豊田 倫久 永田 光希
野村 龍騎 廣江 晴斗 宮本 愁平
森谷 翔 安江 颯斗 山田 成洋
山田 颯大 湯口 未悠 32名

電子工学科 海老原弘耀 吉良 祐亮 桐山 敦地
森 慶博 4名

建築工学科 井出 悠太 入山 恵奈 鵜飼 将也
神田 倖希 久野きよか 丹菊 悠人
名知百合美 真木 優佑 安田 雪華
渡部 葵唯 10名

土木工学科 二村 奨亮 杉原 陸斗 遠山 佳知
藤岡 陸仁 藤田 大翔 松村 純平
湯口 真帆 7名

顕彰制度

実践力を持つ技術者として資質の向上と学習意欲の増進を図るため、資格取得と検定合格を推奨しています。

校内の規定の取得点数により優秀者には金・銀・銅賞が授与され、金賞については3年次に表彰を行います。



※上記のロゴは、令和5年度に本校が創立80周年を迎えたときに、「創立80周年のロゴ」として生徒がデザインしたものです。ものづくりをイメージした六角柱を組み合わせ、80の文字を型取り、現在の学科数6学科の学科記号と学科色で彩ったもので、岐南工6学科の和を岐南工のG(スクールカラー色(エンジ))の文字の輪で表現しています。